

究極のがん治療 陽子線(粒子線)治療

切らずに、外来で、仕事をしながら治療できる。



陽子線(粒子線)治療は、従来の放射線治療では困難な疾患にも、優れた効果を発揮します。

陽子線治療の有効性が確認されている代表的な疾患は、前立腺がん・肝がん・肺がん・頭蓋内病変・頭頸部腫瘍(副鼻腔がんなど)および眼腫瘍(ぶどう膜メラノーマなど)です。いずれの疾患も外科手術や従来の放射線では治療が難しかったものです。

これまでなかなか効果があがらなかったがんに対して、陽子線治療は優れた治療成績を示すことが明らかになりつつあります。

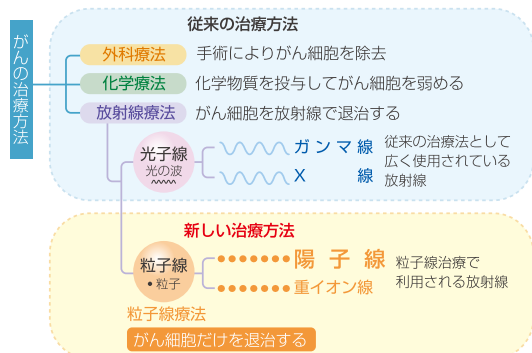
各地で臨床試行が実施されているなかで、将来には陽子線治療の適応範囲が拡大されていくことが期待されています。

がん病巣だけを狙い打ちするので…

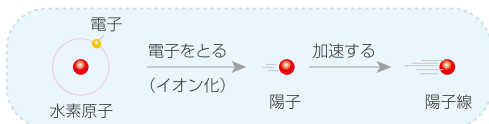
- 正常組織への損傷が少なくなります。
- 放射線の影響を受けやすい臓器の近くにあるがん細胞にも照射できます。
- 仕事と日常生活を続けながら、外来での照射が可能です。
- 高齢者にも優しい治療法です。
- 治療後の社会復帰に支障をきたさない治療法です。

陽子線(粒子線)って?

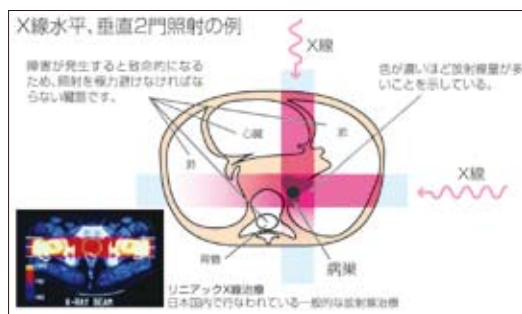
がん治療に利用される放射線は、大きく光子線と粒子線の2つに分けられます。光子線とは、光の波であり、X線・ガンマ線などの従来の放射線治療に利用されます。粒子線は、その名の通り水素の原子核・炭素の原子核等の粒子を利用した放射線で、そのうち特に陽子線と重イオン線を用いた治療を「粒子線治療」を呼んでいます。当センターでは、その中で陽子線を用いた「陽子線治療」が導入されます。



陽子は水素原子から電子をはぎ取った、正の電荷をもった粒子(イオン)です。陽子を、加速器を使って高エネルギーまで加速すると、透過力の大きい電離放射線となります。これが陽子線です。

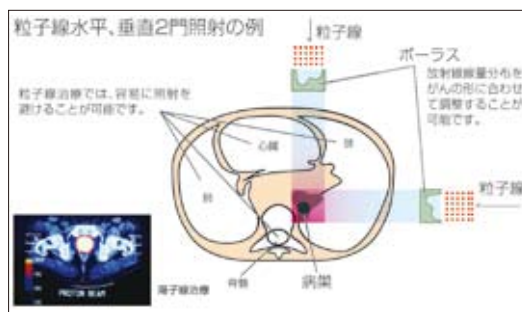


陽子線(粒子線)治療と 今までの放射線治療の違いは?



今までの放射線治療(X線、ガンマ線)

従来の放射線はがん病巣に達するまでに、身体の表面に近い正常細胞にもかなりの影響を与える一方、がん病巣のところでは減弱し、本来の効果を十分発揮できないという弱点がありました。



陽子線(粒子線)照射

陽子線(粒子線)治療は、ある深さにおいて、放射線量がピークになる特性を持っています。ピークの位置をがん病巣に一致させて照射するので、正常細胞への損傷を低く抑えながら病巣だけに集中照射ができます。

きりとり

南東北がん陽子線治療センターで治療出来るがん

すべてのがんが陽子線(粒子線)で治療できるわけではありません。先行する治療施設での経験により、からだの中でがんができた臓器により、陽子線は得意・不得意があることがわかっています。

現在、陽子線治療に向いていると考えられるがんは、頭頸部(鼻腔や副鼻腔、中咽頭、唾液腺・頭蓋底など、喉頭がんを除く)、肺、肝臓、前立腺、膀胱、直腸がん術後局所再発などの原発性がんに加え、単発性の転移性腫瘍です。※実際に治療を受けるためには部位の他に、がんの大きさや進行期、全身の状態などが制限されます。

がんの部位	病名	総線量	回数/期間
前立腺	前立腺がん	74 ~ 78 GyE	37~39回 / 7.4~8週
鼻・顔面・のど等 耳鼻科領域	頭頸部がん	60~70 GyE	30~35回 / 6~7週
骨盤部	直腸がん術後 骨盤内再発	60~70 GyE	30~35回 / 6~7週
脳	脳の悪性腫瘍	60~70 GyE	30~35回 / 6~7週
膀胱	膀胱がん	60~70 GyE	30~35回 / 6~7週
肺・肝・骨・軟部 リンパ節	転移性腫瘍 (単発腫瘍)	60~70 GyE	30~35回 / 6~7週
肺	非小細胞肺がん	60 GyE	10回 / 2週
		80 GyE	20回 / 4週
肝臓	肝がん	60 GyE	10回 / 2週
		78 GyE	20回 / 4週
食道	食道がん	60~70 GyE	30~35回 / 6~7週

たにおひ

きりとり

市民公開講座参加申込書

必要枚数 枚

年齢 性別

歳 男 女

お名前 フリガナ

フリガナ

ご住所

電話番号 () -

FAX () -

メールアドレス

※上記記載内容は個人情報として厳重に管理し、他の目的に使用することはありません。

FAXでお申し込みの方は
024-934-3165まで

■申し込み締め切り:5月31日(月)必着です。※定員になり次第締め切らせて頂きます。

市民講座講演日程

平成22年

●1月17日(日)午後1時から
会場 市民会館いづつき 小ホール
(埼玉県宇都宮市)

●2月28日(日)午後1時から
会場 市民会館いづつき 小ホール
(埼玉県小山市)

●3月7日(日)午後1時から
会場 市民会館いづつき 小ホール
(埼玉県さいたま市)

●4月25日(日)午後1時から
会場 市民会館いづつき 小ホール
(埼玉県盛岡市)

●5月23日(日)午後1時から
会場 市民会館いづつき 小ホール
(埼玉県新潟市)

●6月6日(日)午後1時から
会場 市民会館いづつき
(埼玉県さいたま市)

●7月25日(日)午後1時から
会場 山形テルサ アプローズ
(山形県山形市)

●8月29日(日)午後1時から
会場 秋田テルサ
(秋田県秋田市)

●9月5日(日)午後1時から
会場 泉文化創造センター
(イースティン21)小ホール
(宮城県仙台市)

※都合により日程・会場を変更する場合がありますご了承ください。